

7月31日(火) 「自然科学」 9:45~12:00

信州大学繊維学部 化学・材料学科准教授 小山 俊樹 先生

「脱炭素社会の実現を支える炭素機能材料」

化石燃料に依存した炭素エネルギー社会から、環境への負担を最小限に抑えながら循環強制を目指す脱炭素社会への転換が迫られています。脱炭素社会の実現を支える重要な材料の一つとして、炭素機能材料が期待されています。炭素を使って炭素社会から脱することは可能なのでしょうか？

【講師紹介】 1960年長野市生まれ。信州大学繊維学部化学・材料学科卒業。繊維学研究科修士課程修了。信州大学大学院総合工学系研究科博士(工学)
現職、信州大学繊維学部准教授。専門は高分子物理化学。研究テーマ、ナノ炭素繊維材料と燃料電池への応用。

【著書】『バイオミメティックファイバーの設計思想』:『ウェアラブル燃料電池』

(“ファイバー”スーパーバイオミメティックス ~近未来新技術創成~, エヌ・ティ
ー・エス2006)『DMFC用拡散電極の現状と課題』(現場からみた燃料電池の展望
と有機材料の役割, ぶんしん出版2006)